

各 位

2023年11月13日
株式会社リットーミュージック『ブラック・ジャック ミッシング・ピースズ』の発売前重版が決定！
知られざるブラック・ジャックの姿に注目が集まる

インプレスグループで音楽関連のメディア事業を手掛ける株式会社リットーミュージック（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：松本大輔）内で文芸・カルチャー関連を扱う出版レーベル立東舎は、『ブラック・ジャック ミッシング・ピースズ』（手塚治虫：著）の発売前重版を決定しました。

本書は発売前から新聞各紙で「『ブラック・ジャック』“最後のお蔵出し”11月公開へ モノクロ線画や未使用コマなど」と報じられ注目が集まっていたが、リアル書店やオンライン書店での予約が殺到。2023年11月20日の発売を前に2刷目が決定いたしました。

「週刊少年チャンピオン」での連載開始から50年の節目の今年、ブラック・ジャックの知られざる姿と、それを生み出した手塚治虫のクリエイティビティの軌跡をぜひご堪能ください。

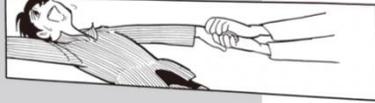
なお本書に先駆けて6月に発売した『ミッドナイト ロストエピソード』も好評で、同書には手塚が生前最後に描いたブラック・ジャック登場エピソードを完全収録し、ファンの間で話題になりました。この機会に併読をお勧めしたい1冊となります。

■内容一部ご紹介



「侵略者」について

次頁から167頁にかけて掲載したのが「侵略者」の本使用原稿（原稿）で、これは2019年11月に三栄書房から発行されたムック『ブラック・ジャック大傑作』で初公開されたもの。2015年3月に復刊ドットコムが『ブラック・ジャック大傑作』7巻において、単行本初収録されたもの。同巻には原稿が4枚掲載されていたが、実際はもう1枚、というよりも1コマ隠されており、それが以下に掲載したサトルとその手を握る母の胸が露かされたもの。なお、本作に登場するサトルは、半蔵が1987年から1993年に『日の丸』に連載した「ナンバー7」の主人公ナンバー7こと大島七郎。そして、サトルを死の世界へ引き込もうとするインペーターの家は、本作が発表された数2年半後の1978年4月から『週刊少年マガジン』で連載が始まるスペースオペラ『未来人カオス』の主人公カオスの居るようなのだ。



『未来人カオス』 編者 藤田 正樹
『ナンバー7』 編者 藤田 正樹
主人公ナンバー7こと大島七郎





書名：ブラック・ジャック ミッシング・ピースズ

著者：手塚治虫

定価：4,950 円（本体 4,500 円＋税 10%）

発売：2023 年 11 月 20 日

発行：立東舎／発売：リットーミュージック

商品情報ページ <http://rittorsha.jp/items/23317415.html>

CONTENTS

- ・ 第 1 話「医者はどこだ！」原画
- ・ 第 55 話「ストラディバリウス」雑誌版＋単行本版
- ・ 第 67 話「緑柱石（その 1）」／第 67 話「緑柱石（その 2）」（雑誌版）＋「ふたりのピノコ」（本作は「緑柱石」を大幅に再編集したエピソード）
- ・ 第 101 話「侵略者」雑誌版＋未使用原稿
- ・ 第 104 話「ピノコ西へいく」雑誌版＋単行本版（差分）
- ・ 第 143 話「空からきた子ども」雑誌版＋単行本版（差分）
- ・ 第 145 話「霊のいる風景」雑誌版＋単行本版（差分）
- ・ 第 227 話「刻印」雑誌版＋単行本版（差分）
- ・ 第 232 話「虚像」雑誌版＋制作途中原稿（コピー）
- ・ 最終話「人生という名の SL」単行本版＋雑誌版（差分）＋下描き原稿
- ・ 雑誌版と単行本版の比較（「灰とダイヤモンド」「悲鳴」「ふたりの修二」「キモダメシ」）
- ・ 「ブラック・ジャック アーカイブス」予告、週刊チャンピオン表紙原画、未使用原稿、アニメ『100 万年地球の旅 バンダーブック』設定資料など

・ 解題（濱田高志）

PROFILE

手塚治虫（てづか・おさむ）

1928 年、大阪府豊中市生まれ。兵庫県宝塚市で少年時代を過ごす。46 年マンガ家としてデビュー。翌年発表した「新寶島」等のストーリーマンガにより、戦後マンガ界に新生面を拓く。62 年アニメーション作家としてデビュー。翌年から放映したテレビアニメ「鉄腕アトム」により、テレビアニメブームをまきおこす。89 年 2 月 9 日没。

■ 関連タイトル情報



書名：ミッドナイト ロストエピソード

著者：手塚治虫

定価：4,950 円（本体 4,500 円＋税 10%）

発売日：2023 年 6 月 16 日

発行：立東舎／発売：リットーミュージック

商品情報ページ <http://rittorsha.jp/items/23317408.html>

【立東舎】 <http://rittorsha.jp/>

立東舎は文芸、マンガほか、さまざまな分野のポップカルチャーを紹介する出版活動を展開中。

「乙女の本棚」などの好評シリーズのほか、手塚治虫、谷ゆき子らの幻のマンガの復刻などで感度の高い読者の話題を集めている出版ブランドです。

【株式会社リットーミュージック】 <https://www.rittor-music.co.jp/>

『ギター・マガジン』『サウンド&レコーディング・マガジン』等の楽器演奏や音楽制作を行うプレイヤー&クリエイター向け専門雑誌、楽器教則本等の出版に加え、電子出版、映像・音源の配信等、音楽関連のメディア&コンテンツ事業を展開しています。新しく誕生した多目的スペース「御茶ノ水 RITTOR BASE」の運営のほか、国内最大級の楽器マーケットプレイス『デジマート』やエンタメ情報サイト『耳マン』、T シャツのオンデマンド販売サイト『T-OD』等の Web サービスも人気です。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：松本大輔、証券コード：東証スタンダード市場 9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社リットーミュージック 広報担当

E-mail: pr@rittor-music.co.jp